

# 三自連だより

大麻西町自治会  
 大麻扇町自治会  
 大麻沢町16丁目自治会  
 サンゴール第二自治会  
 大麻沢町第二自治会  
 大麻教沢自治会

## 【災害列島日本】

大麻第三住区自治連合会  
 会長 石田喜計

新年あけましておめでとうございます。  
 地域の皆様には輝かしい新年を健やかに  
 お迎えのこととお喜び申し上げます。



日頃より三自連の諸事業にご協力  
 ご支援いただき心から感謝しお礼申し上げます。

報道によれば、日本列島の平成 30 年を漢字一字で表すと「災」ということでしたが、まさに北は北海道から南は九州まで災害列島という感じが強い 1 年でした。

1 月の北陸・信越地方の豪雪被害、6 月の大阪北部地方の地震、7 月の岡山・広島県、そして九州大分県を襲った西大豪雨、そして 9 月には北海道を襲った台風 21 号とその直後の胆振東部地震で甚大なる被害を受けました。

江別市内では台風で街路樹、防風林などの倒木による交通障害、地震による被害ではブラックアウトという初めて聞く言葉、全道で停電が発生し、ライフラインが停止し日常生活に多大な影響を及ぼしました。

今までは江別地区は全国でも災害の少ない地域とされてきましたが、そのためか防災意識が他市よりも比較的に低く感じられてきましたが、東北大震災以来、市でも各自体でも防災意識の向上を図るべく、防災研修や訓練の実施を促してきましたが、9 月の災害以降は、防災研修が多くなり、市民の防災意識が高まってきたと思うところではあります。

ここで 研修会での記憶に残っているとところを紹介します。

皆さんもすでにご承知のように、江別地区よりは、大麻地区の地盤はしっかりしています。

従って建物損壊が大きくなければそこにとどまった方が賢明であるということです。

避難所である西地区センターや西小学校体育館では、全避難者を到底収容し切れません。

「自助」「共助」「公助」という言葉も盛んに使われた年でもありました。

●「自助」は、自分の身は自分で守るということですが、あらゆることを想定し、1 週間くらいは自分で生活できる。

ように生活用品の準備・備蓄をすること。

●「共助」は、声をかけあい、見守り、助け合いによる地域の繋がり的重要性。地域の各種イベント研修等に参加して顔を覚えてもらうことによって繋がりができます。

●「公助」は、市、消防、警察、自衛隊などによる支援ですが、これらは災害発生後 2～3 日後になってしまいます。

先般、市の危機対策室主催の自主防災研修で避難所運営訓練を受講してきましたが、1 回の受講では大変難しいところがあり、2 回、3 回の受講が必要と感じました。

これから役員になられる皆様もぜひ機会を見て受講してみてください。

昨年は残念ながら子供みこし祭りが中止になりましたが、文化祭はおかげさまで盛況のうちに終了できました。

三自連で地域の繋がりを強くする大事な事業です。

また、各単位自治会の事業にも大いに参加し繋がりを作り「安心」「安全」で住みよい街づくりを目指したいと思えます。

昨年のもっとも記憶に残った感想でした

## 明けましておめでとうございます

昨年は大麻第三住区自治連合会の諸事業に甚大にご協力いただき、おかげさまで無事に新しい年を迎えることができました。これもひとえに住区の皆様方のご協力の賜物と感謝申し上げます。

新しい年を迎え会員の皆様にはご健勝で幸多かれと念ずる次第でございます。

今年もまたどうぞよろしくお願い申し上げます。

会 長	石田喜計	事務局 長	内田辰英
副会長	阿部紀彦	会計部 長	井上禎二
副会長	加藤幸子	女性部	柳瀬千雪
副会長	北川正彦	女性部	三浦麗子
副会長	細田彩江	女性部	福田道子
会長会	米田光彦	顧問	松本光
会長会	阿部慎吾	監事	堀輝久
		監事	小山博

## 第47回大麻西地域市民文化祭を終えて

第47回西地域市民文化祭  
副実行委員長 北川 正彦

今年で47回目となる「大麻西地域市民文化祭」は11月3日～4日の秋晴れの中で開催され、大勢の来館者をお迎えし、無事終了することができました。



絵画、書、写真、陶芸や工芸品などの立派な作品を出展していただいた皆様、および準備などに積極的にご協力いただいた70名を越える実行委員の皆様には心より御礼申し上げます。

当初、最近では出展数が少なくなって来ていることを聞き心配しておりましたが、今回初めて出展していただいた方も加わり、お陰様で力作が沢山揃いました。

また、幼稚園から小中学校の皆さんの創造豊かな作品を始め、初めて設けた大麻消防署の防火防災展示コーナーや、大麻団地造成期の懐かしいビデオ上映、人形劇パネルシアター、器楽演奏や大麻西小の生徒さんの合唱などのイベントも行われ、楽しく華やかな催しとなりました。

今年は天候不順で、花の展示調整には大変ご苦労されたと思いますが、会場入り口から会場内に配置した菊や盆栽などを始めハイビスカスなどの花に心癒され、例年のジャンボ・カボチャも並べることができました。

会場には、江別市長もご来館頂き熱心にご観覧いただきました。またロビーの交流サロンも盛況で、来館者が絶えることなく大勢の方々に作品をご覧いただくことができました。

このように「大麻西地域市民文化祭」は、住民の皆様や団体の皆様の地域を自ら豊かに創り上げて行く気持ち、力になって半世紀近く継続して来られたものと思います。そしてこの文化祭を通して、地域住民による開かれた交流の場の一つとして、多彩な趣味や才能をお持ちの方々が居られることを知る機会となり、地域交流の和やかな連携に繋がる大切な目的を持っているものと感じました。また子供達にも“ふるさとを想う気持ち”が芽生える一つになればとも思います。

今後も西町・扇町・沢町16丁目・サンゴールド・沢町第二、教沢の各自治会(大麻第三自連)で構成するこの地域住民の輪を大切に積み重ね、一層すばらしい風上に発展していくことを期待したいと思います。

皆さま、ご協力ありがとうございました。

### 平成最後の三自連事業は 異例づくめで終る…

平成30年度の三自連恒例2事業は、47回目にして混乱の事態を迎え、三自連始まって以来の異例づくめの展開となりました。

9月の子供みこし祭りは9月6日未明に発生した胆振東部地震のため、被災した現地の方々に対する配慮や関係機関等などからの要請もあり、第47回子供みこし祭りの巡行[予定9/9]を3日後に控え、およそ三自連始まって以来の緊急中止となったことはまだ記憶に新しいことと思います。

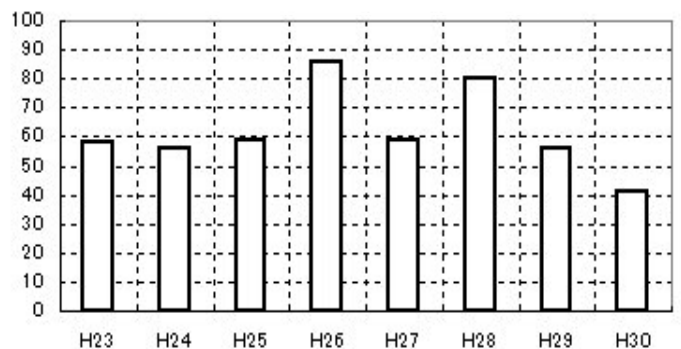
中止の判断やむなしと決意した9月7日の時点では、まだ続行の可能性を探っていたものの、その後、続々と入ってくる驚きの災害報道にさらされ、ついに抗しきれず今年度の巡行を断念したものです。

また、11月3・4日の2日間にわたる第47回西地域市民文化祭も今年度は前例にない事態となりました。

これは三自連住民の出展作品が激減したためです。この背景には、年令の高齢化にともなう作品作成の「体力減退」説あり、「飽きてきた」説あり、「面倒くさくなった」説など様々ですが、しかし、内外に文化祭の開催案内状を関連機関にも郵送してしまった後でもあり中止は何としても回避しなければならないという悲壮感があったことは否めませんでした。

しかし、幸いなことに、ここ数年に亘り続けてきた、大麻西小学校のコーラス、子供向けパネルシアターや住民有志の器楽演奏などのイベントなどがほぼ定着し、加えて、特に今年度の全国的な災害発生、そして北海道本土内陸の巨大地震の洗礼を受けた後でもあり、災害・防災の啓蒙のために江別市消防署の支援を得て火災・防災用品の展示をお願いし、また、北海道道立図書館の協力を得て「大麻団地のできるまで」の動画映写など初めての展示を試行し、なんとか文化祭事業を無事に終えることができました。

過去8年間の出展数経緯



また、展示作品の総量が、ここ三年間連続減で(グラフ参照)、これまでどおりの展示配置では、一般展示室がガラ空に見えることが確定した前日の準備日(11/2日)の11時過ぎに、思い切って二つの幼稚園児の作品を、これまでの第4会議室から引き上げて、一般展示室に急遽展示換えを実施したのはこれも初めての試行でした。

かくして平成最後の年の三自連2大事業は綱渡り状態で異例づくめの展開となりました。

今後とも西地域市民文化祭の事業を継続するにあたり、今年度の試練が吉となるか凶となるか、新しい年の課題として皆様のご高察を切にお願い申し上げます。  
(事務局記)